

令和4年度楡葉町原子力施設監視委員会 福島第一原子力発電所に関する要確認事項

■基礎的な確認事項

項目		要確認事項
原子炉内の冷却状況	1～2号機	* 温度の推移、冷却系停止時の温度上昇予測（1時間当たり温度上昇）、制限温度到達までの時間 * 再臨界のリスクとその対応（従来からの変更点があれば）
使用済燃料の冷却状況	1～2号機使用済燃料プール	* 使用済燃料の保管量、冷却系停止時の温度上昇予測（1時間当たり温度上昇）、制限温度到達までの時間
	5～6号機使用済燃料プール	
	共用プール	
	キャスク仮保管設備	* 使用済燃料の保管量 * 警報等の発出状況とその原因
放射性物質の放出状況	原子炉建屋からの放出	* 各号機建屋からの新たな放出の状況（敷地境界モニタリング結果）
	海洋への放出	* 港湾内外の海水モニタリング結果
緊急時対応能力		* 緊急時対応訓練の実施状況、規制庁の評価結果等 * 緊急時用資機材等の導入等（従来からの変更点があれば）
要員確保・作業環境改善		* 作業要員の確保状況、作業環境の改善状況（従来からの進展等があれば） * 新型コロナウイルス感染症拡大の影響、対策の実施状況

■廃炉工程の進捗に伴う確認事項（昨年度の項目をベースに、現状に合わせて内容を修正）

項目	●最近の状況 ○今後の予定		要確認事項
使用済燃料プール等からの燃料取り出し	1号機	●大型カバー設置に向けた工事を実施中。 ○2023年度頃に大型カバー設置完了予定。 ○2027～28年度に燃料取り出し開始予定。	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	2号機	●燃料取り出し用の構台設置に向けた地盤改良工事が完了。 ○2024年度～2026年度に燃料取り出し開始予定。	
	3号機	●2021年2月に燃料取り出し済み。 ○2022年度下期から、制御棒等高線量機器の取り出しを計画中。	
	4号機	●2014年に取り出し済み。	
	5/6号機	●5号機1,542体、6号機1,654体の燃料保管中。 ○2031年以内に、燃料取り出し完了予定。	
	その他	○各号機での燃料取り出し完了後、使用済制御棒等の高線量機器の取り出しを実施。 ○共用プールで保管している燃料の高台での保管に向け、乾式保管設備の検討・設計・設置工事を実施。	
燃料デブリ状況把握・取り出し工法検討	1号機	●2022年2月、原子炉格納容器の内部調査を開始。	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	2号機	●試験的取り出しに向け、ロボットアームの性能確認試験等を実施中。 ○原子炉格納容器内部調査とあわせ、燃料デブリ取出設備（アクセス設備、回収装置等）の制作・設置を進める。 ○燃料デブリ取り出し開始予定（2021年開始予定だったものが、1年程度遅延予定）	
	3号機	●2022年3月、南側地上ガレキ撤去完了。 ○原子炉格納容器内部調査の検討を進める。	
汚染水対策	建屋滞留水処理	●2020年12月、1～3号機原子炉建屋、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋を除く建屋内滞留水処理を完了。 ●ゼオライト土嚢等の回収に向け、土嚢等の位置や水面の線量等の情報を取得中。線量低減策及び安定化に向けた検討を実施中。 ○2022～24年度に、原子炉建屋滞留水量を2020年末の半分程度に低減。（2022年3月、2号機の目標水位に到達）	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	汚染水発生抑制	●2022年2月、陸側遮水壁内側敷地舗装（海側）完了。 ●汚染水発生量は約130m ³ /日（2021年度）に低減。 ○2025年以内に汚染水発生量100m ³ /日以下に抑制。	* 大雨時の汚染水発生状況、その対応状況 * 今後の発生量抑制策
	ALPS処理水	●政府の基本方針達成に向け、放射線影響試験、沖合地質調査、測定・確認用設備における攪拌等実施。 ●海洋生物の飼育試験（発電所周辺海水を用いた飼育練習）を開始。 ○2022年9月頃から、「海水」と「海水で希釈したALPS処理水」を用いた飼育試験を開始予定。 ○処理水希釈放出設備及び関連施設の準備工事・設置工事を実施。（2022年4月、発電所沖合1kmの海域の環境整備を開始）	* 処理施設の稼働状況、これまでの処理量・今後の処理見込量 * ALPS処理水の今後の取扱いに関する現状の検討の状況（または、進捗状況） * 海洋生物への移行試験の状況
	フランジ型タンク解体・リブレス	●フランジ型タンクの解体進捗中。	* 全フランジ型タンクに占める解体の進捗状況・今後の解体予定
廃棄物対策	廃棄物管理	●2022年3月、増設雑固体廃棄物焼却設備の設置完了。5月から運用開始。 ○減容処理施設の設置工事を実施中。 ○2028年度内に、ガレキ等の屋外一時保管解消。	* 廃棄物の種類別の保管量・保管場所と保管解消のスケジュール
	研究施設	●放射性物質分析研究施設第一棟について2021年2月より総合機能試験を開始。この結果、給排気設備の風量不足が確認され、原因究明・対策検討を実施。これにより、2021年6月に予定されていた運用開始に遅れ。	* 放射性物質分析研究施設の第一棟の概要及びその他施設等の設置等について * 分析の実施主体・対象・手法について
その他	自然災害対策	●2021年12月、建屋健全性評価に向けた原子炉建屋内調査が完了。 ●2022年1月、津波対策として建屋開口部の閉止が完了。 ●2022年5月、1号機ペDESTALのコンクリート壁の一部が損傷していることが判明。 ●豪雨リスク解消するために、新D排水路の新設に向けた作業を実施中。 ○日本海溝津波防潮堤設置工事を実施中。2023年度下期には完成予定。	* 2022年3月福島県沖地震の被害・対応状況 * ペDESTAL壁一部損傷による耐震性への影響 * 各種対策の計画・進捗状況
	リスクマップ	●NDFが示した技術戦略プラン2021において、2021年3月時点の状況を反映したリスクに関する図が示された。	* 過去の委員会意見や対策進捗状況等を反映したリスクマップ